

OCJpn全国ワークショップ
神奈川県
がん・生殖医療ネットワーク

2023年1月27日

ネットワーク の概要①

名称：KanaOf-Net（かなおふネット）

設置時期：令和2年1月

設置要綱制定：令和3年9月

構成員

がん治療側：がん診療連携協議会の参加施設
（現在 33施設）

生殖医療側：横浜市大市民総合医療センター
聖マリアンナ医科大学

ネットワーク の概要②

コアメンバー

会長：がん診療連携協議会 会長

副会長：横浜市大生殖医療センター 部長

その他：聖マリアンナ医科大学

横浜市立センター

横浜市立大学

県立こども医療センター

県がん・疾病対策課（事務局）

ネットワーク の概要③

取組内容

- ・ がん治療側から生殖医療側への紹介をスムーズにするためのシステム構築
- ・ コアメンバーでの意見交換会

ネットワーク の概要④

啓発活動

- がん診療連携協議会、相談支援部会、薬物療法部会等で研修会を開催（予定）
- 企業主導で医療従事者向け研修会の開催

ポスターで周知しています！

その他の 啓発活動①

神奈川県

病気が治った後のことを
思い浮かべてみてください

そのときのために今できることを!

神奈川県にお住まいの方へ

妊孕性温存治療費を
一部助成いたします

将来子どもを授かる選択肢のひとつに、妊孕性を温存するという方法があります。
妊孕性とは「妊娠できる力」のことです。

詳しくは県ホームページで
ご確認ください。

神奈川県 にんようせい

お問合せ先 平231-8588 横浜市中区日本大通 神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課(日本大通アビル2F) 045-210-5015(直通)

冊子で周知しています！

その他の啓発活動②



妊よう性温存療法ってなに？

だれが受けられるの？
いつ行うの？

パートナーの有無にかかわらず、男性も女性も対象に。ただし、病状や治療の状況によっては難しい場合も

がんの治療開始前に

妊よう性温存療法について 知っておいてほしいこと

- あなたの命が一番大切です。
- 妊よう性温存療法を受けるかどうかは、がん治療医や生殖医療医と十分に話し合い、パートナーやご家族とともに考えましょう。
- がんの治療と妊よう性温存療法が「安全に両立できるか」、「妊よう性を温存するためにかけられる時間がどれくらいあるのか」、などをがん治療医や生殖医療医に相談しましょう。
- 受ける場合は、「いつ受けるか」、「どれくらい期間がかかるか」、保険診療外なので「どれくらい費用がかかるか」などをパートナーやご家族と十分に話し合しましょう(Q&A p11-13参照)。
- 妊よう性温存療法は進歩していますが、必ずしも子どもを授かることができるわけではないのが現状です。

選択肢はひとつではないのよ

2

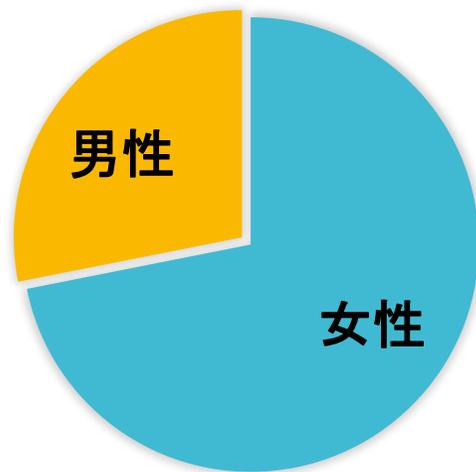
実績報告①

妊孕性温存治療

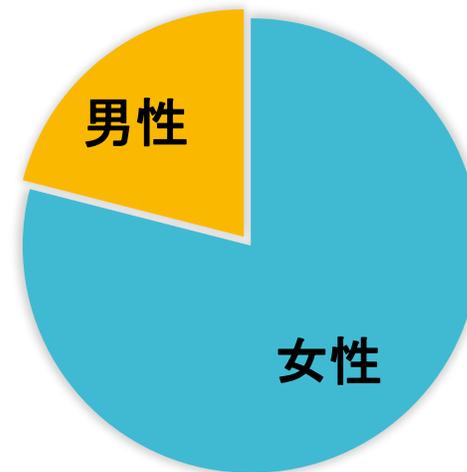
助成実績

年度	助成件数
令和3年度	64件（女性46件、男性18件）
令和4年度 （令和5年1月末時点）	100件（女性79件、男性21件）

令和3年度



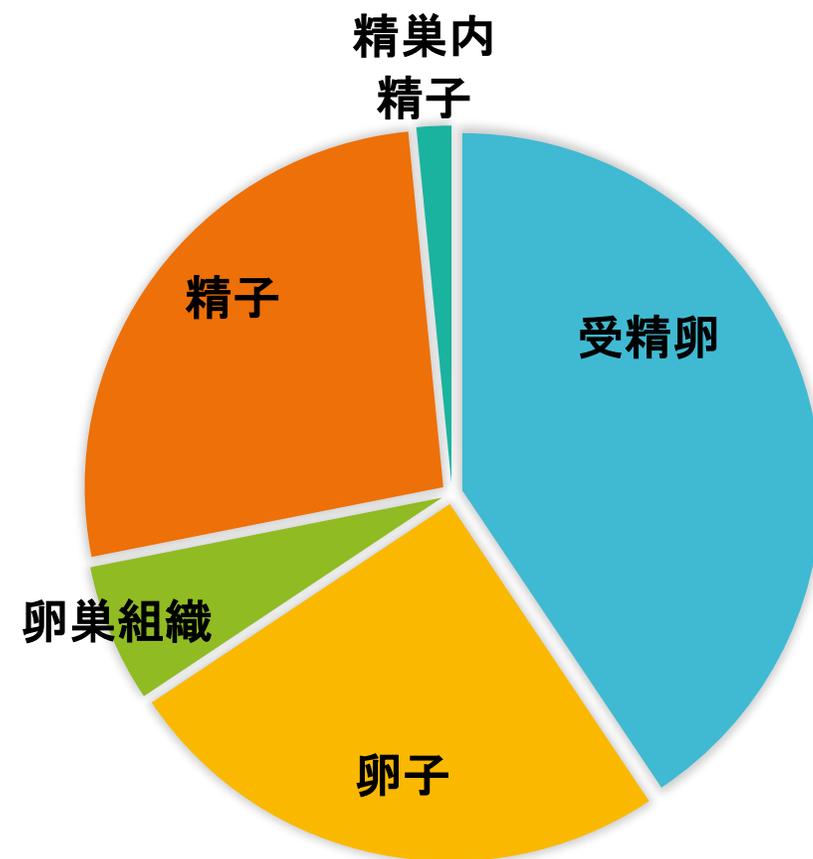
令和4年度



実績報告②

令和3年度実績 治療内容別

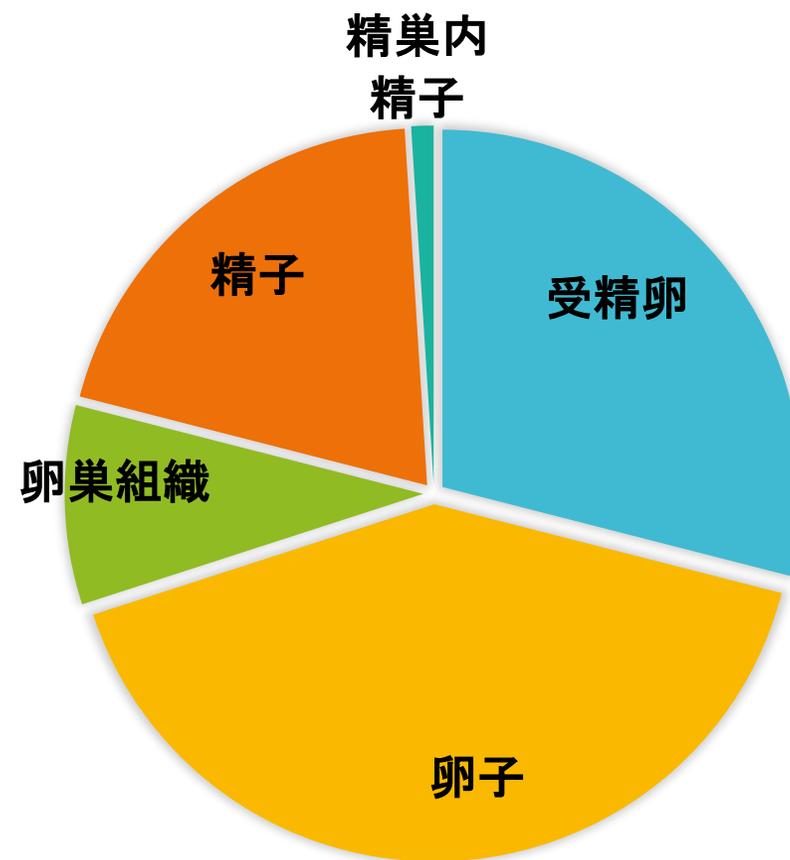
治療内容	助成件数
受精卵	26件
卵子	16件
卵巢組織	4件
精子	17件
精巣内精子	1件



実績報告③

令和4年度実績 治療内容別

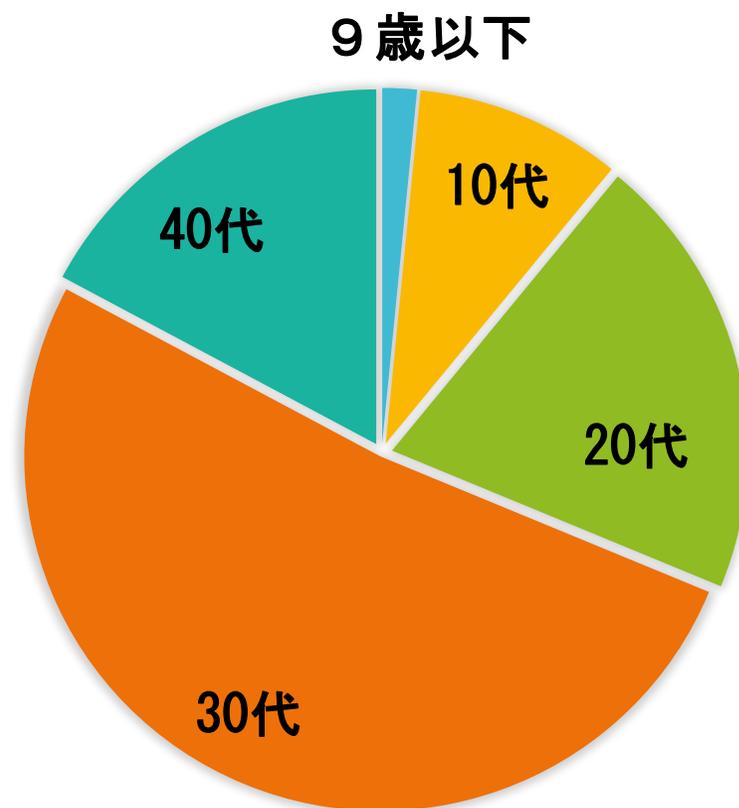
治療内容	助成件数
受精卵	29件
卵子	41件
卵巢組織	9件
精子	20件
精巣内精子	1件



実績報告④

令和3年度実績 年代別

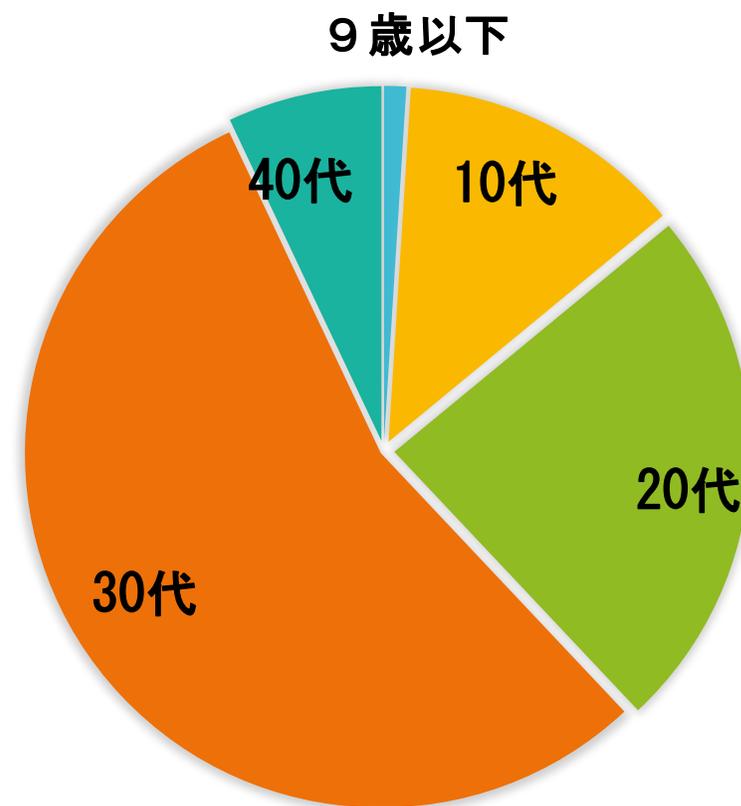
年代	助成件数
9歳以下（6歳）	1件
10代	6件
20代	13件
30代	33件
40代（～42歳）	11件



実績報告④

令和4年度実績 年代別

年代	助成件数
9歳以下（8歳）	1件
10代	13件
20代	24件
30代	55件
40代（～42歳）	7件



実績報告⑤

温存後生殖補助医療 助成実績

年度	助成件数
令和4年度 (令和5年1月末時点)	2件

- ① 治療内容 : 凍結精子を用いた凍結胚移植
原疾患 (夫) : 慢性骨髄性白血病
- ② 治療内容 : 凍結胚を解凍して胚移植を実施
原疾患 (妻) : 乳癌

事例紹介①

妊孕性温存治療関係

- ・ 治療3回分の合計金額のみを記載した申請あり
- ➡ 生殖側の病院に1回毎の金額を確認した上で、患者に事情を説明し、申請金額が2回分の金額になることで了解を得た。
- ・ 悪性リンパ腫の診断・治療開始から8年後に卵子凍結した方から申請あり
- ➡ かなおふネットの先生に相談し、不承認として処理
- ・ 指定医療機関ではない病院で治療をした方から申請あり
- ➡ 当該病院に説明したところ、指定医療機関の承認を得る方向で手続きを進められるということで、承認後に再度申請してもらうこととした。

事例紹介②

温存後生殖補助医療関係

- ・ 上限回数6回には、不妊治療費助成の回数も含まれるのか問合せあり

課題①

- 1 妊孕性温存治療費の格差が大きい
 - ・ 卵 子：15万～63万
 - ・ 受精卵：25万～89万
- 2 リスク確認のための手順を全国で統一してほしい。
 - リスク確認をお願いするには、詳細な治療内容（薬物療法の場合の薬品名など）が必要になるが、国の様式にはその記載項目がないため各病院に問い合わせることが必要になる。

課題②

- 4 凍結保存維持費への助成をお願いしたい。
- 5 妊孕性治療の紹介を行っているがん治療施設が一部に限られており、なかなか増えない。
- 6 温存後生殖補助医療費の助成申請が予想より少ないため、周知が必要。